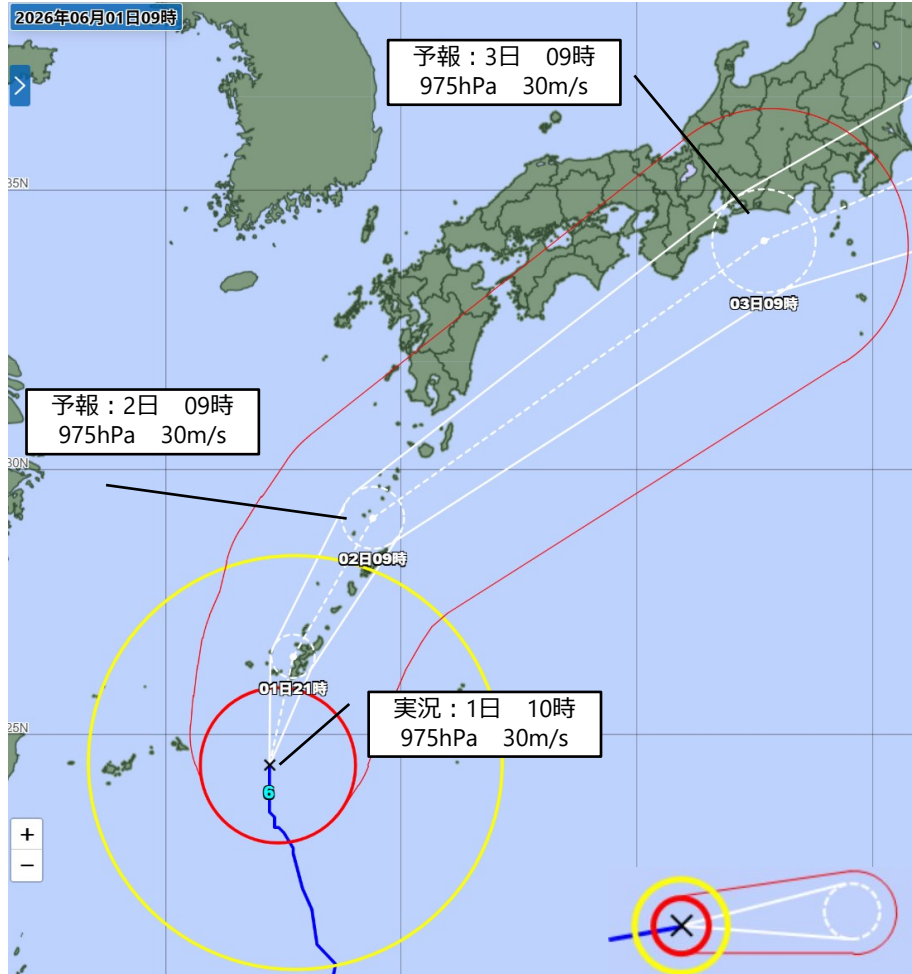


# 台風第6号に関する説明

大阪管区気象台気象防災部予報課

この資料は、6月1日11時時点の予想に基づいて作成したものですので、最新の気象情報は、気象台ホームページから確認ください。

- ① **台風第6号は、3日午前中に、近畿地方に接近するおそれ。**  
1日は沖縄の南を北上し、沖縄地方、奄美地方にかなり接近する見込みです。その後、進路を次第に東よりに変え、3日にかけて、本州の南岸を東よりへ進み、暴風域を伴ったまま西日本から東日本に接近するおそれがあります。
- ② **前線と台風による大雨のおそれ。** 台風が接近する前から暖かく湿った空気が流れ込むため、前線による降水の強まりのおそれ。更に、台風の接近時には、降水が強まるおそれ。特に、**近畿南部を中心に降水量が多くなる見込み。** 2日夜から3日にかけて低い土地の浸水や河川の増水、土砂災害に十分注意。
- ③ **暴風や高波のおそれ。** 近畿南部を中心に、2日夜遅くから3日にかけてうねりを伴った高波に厳重に警戒し、3日は暴風に警戒。



台風第6号は、1日10時には那覇市の南にあって、1時間におよそ15キロの速さで北へ進んでいます。

- ✕ 現在の台風を中心位置
- 予報円 (白い破線の円)  
台風の中心が入る確率が70%
- 暴風警戒域 (赤線内の領域)  
暴風域に入るとおそれのある範囲
- 強風域 (黄色い円内)  
15 m/s以上の風の範囲
- 暴風域 (赤い円内)  
25 m/s以上の風の範囲
- 経路

## 1日10時実況

01日10時の推定	
種別	台風
大きさ	-
強さ	-
存在地域	那覇市の南約200km
中心位置	北緯24度30分 (24.5度) 東経127度10分 (127.2度)
進行方向、速さ	北 15 km/h (9 kt)
中心気圧	975 hPa
中心付近の最大風速	30 m/s (60 kt)
最大瞬間風速	45 m/s (85 kt)
25m/s以上の暴風域	東側 185 km (100 NM)
	西側 150 km (80 NM)
15m/s以上の強風域	東側 500 km (270 NM)
	西側 390 km (210 NM)

## 3日09時予報

03日09時の予報	
種別	台風
強さ	-
存在地域	浜松市の南約70km
予報円の中心	北緯34度05分 (34.1度) 東経137度40分 (137.7度)
進行方向、速さ	北東 40 km/h (22 kt)
中心気圧	975 hPa
中心付近の最大風速	30 m/s (60 kt)
最大瞬間風速	45 m/s (85 kt)
予報円の半径	100 km (55 NM)
暴風警戒域	南東側 290 km (155 NM)
	北西側 250 km (135 NM)

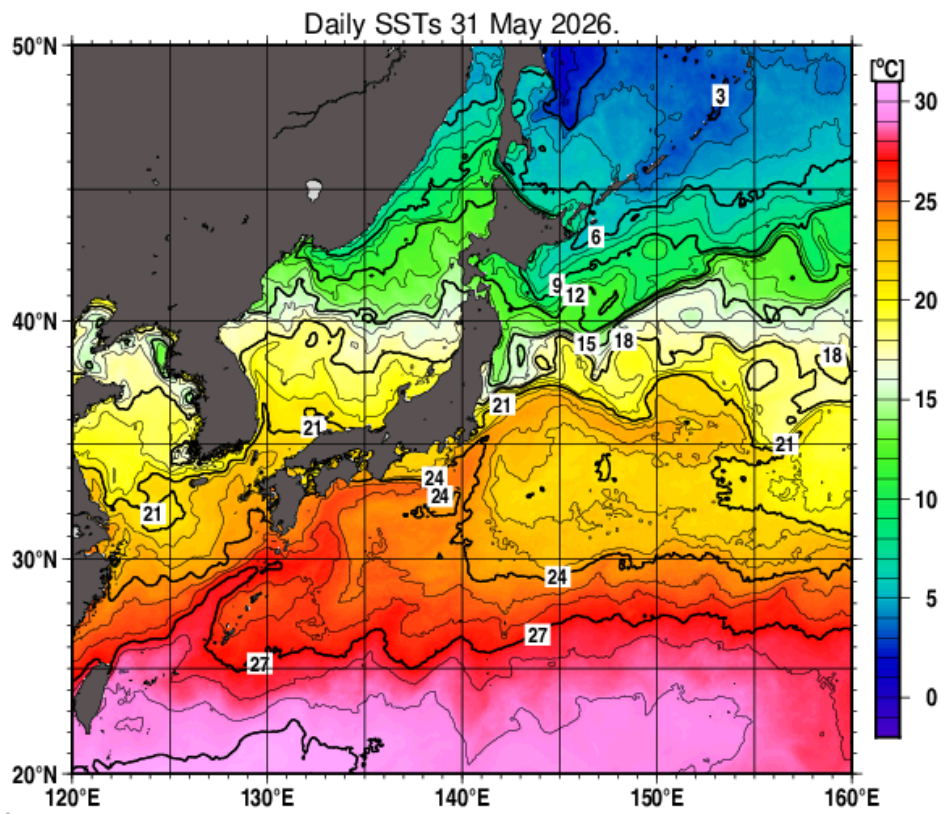
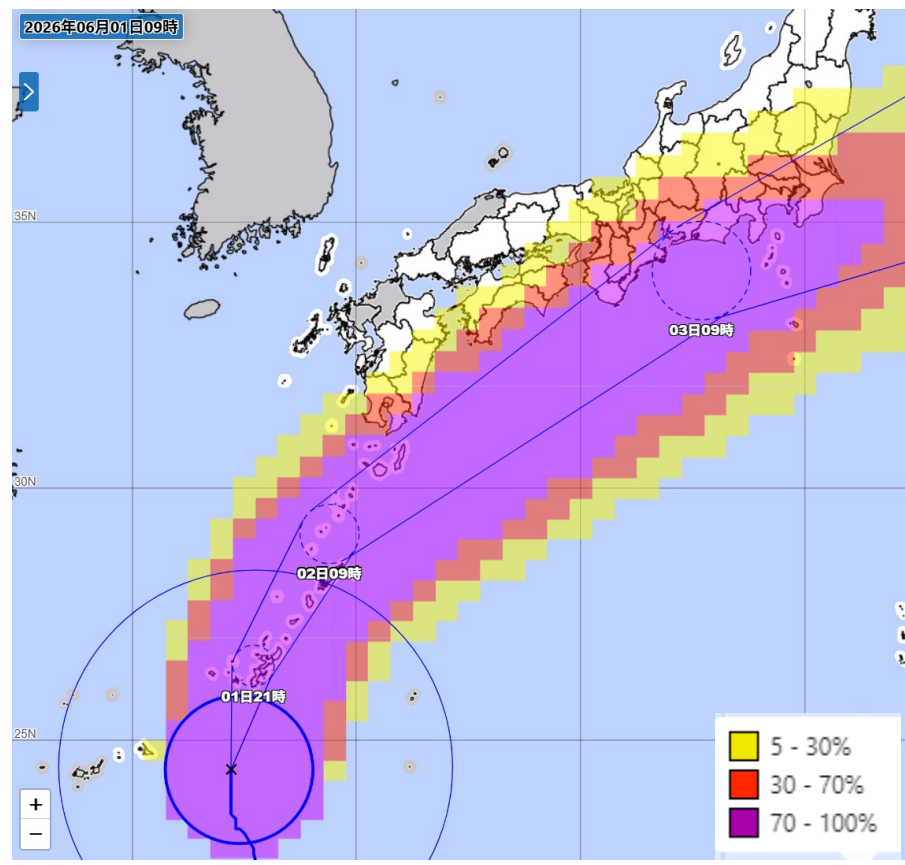
## 2日09時予報

02日09時の予報	
種別	台風
強さ	-
存在地域	奄美市の北約80km
予報円の中心	北緯29度05分 (29.1度) 東経129度25分 (129.4度)
進行方向、速さ	北北東 30 km/h (15 kt)
中心気圧	975 hPa
中心付近の最大風速	30 m/s (60 kt)
最大瞬間風速	45 m/s (85 kt)
予報円の半径	65 km (35 NM)
暴風警戒域	南東側 250 km (135 NM)
	北西側 210 km (115 NM)

## 4日09時予報

04日09時の予報	
種別	台風
強さ	-
存在地域	日本の東
予報円の中心	北緯36度50分 (36.8度) 東経145度30分 (145.5度)
進行方向、速さ	東北東 30 km/h (17 kt)
中心気圧	980 hPa
中心付近の最大風速	25 m/s (50 kt)
最大瞬間風速	35 m/s (70 kt)
予報円の半径	185 km (100 NM)

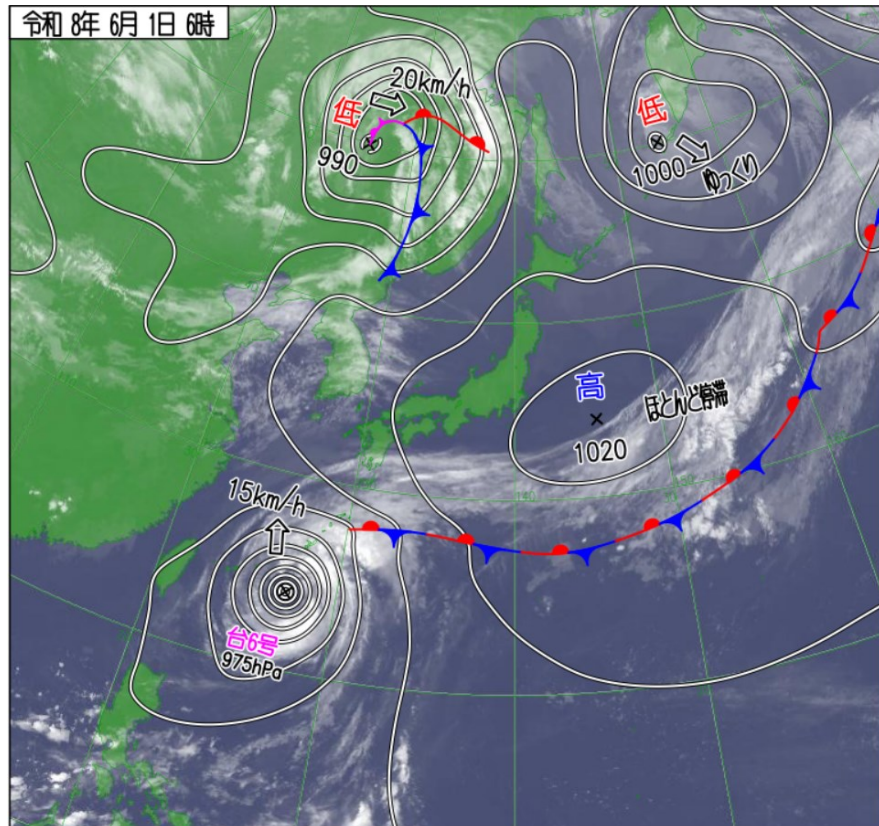
# 暴風域に入る確率と海面水温



- 暴風域に入る確率 (5日先まで)
- 6月1日9時現在の予想

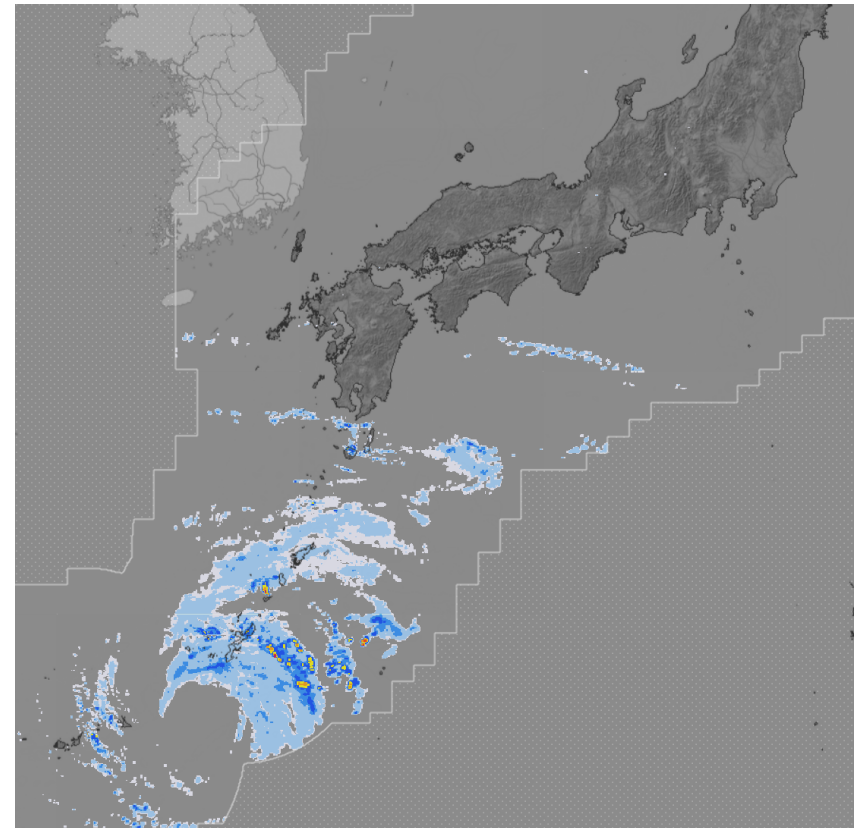
- 海面水温 5月31日の実況

令和8年6月1日06時



- 台風本体周辺には、発達した雨雲が広がっている。

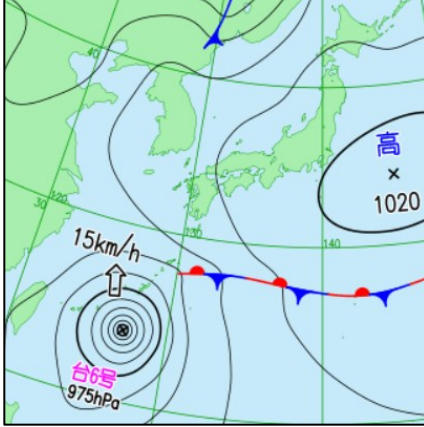
令和8年6月1日10時



- 台風を取り巻く強雨域と前線に伴う発達した雨雲が広がっている。

# 地上天気図や予想図

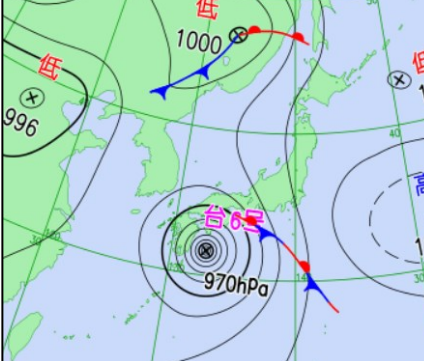
令和8年6月1日6時



令和8年06月01日21時の予想

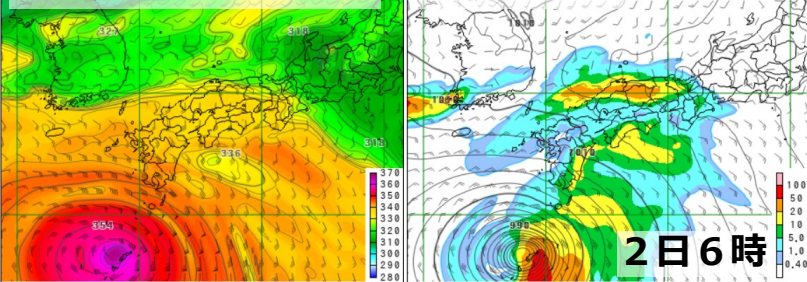


令和8年06月02日21時の予想

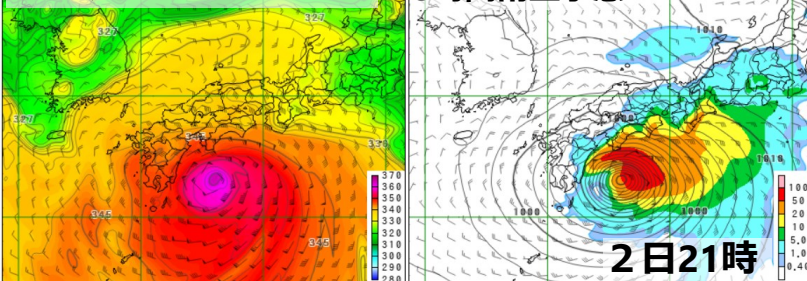


近畿地方では2日明け方から前線の影響により、2日夜から台風本体の影響により降水が強まるおそれ。3日は台風が更に接近するため、更に強まるおそれ。近畿南部を中心に降水量が多くなるおそれ。

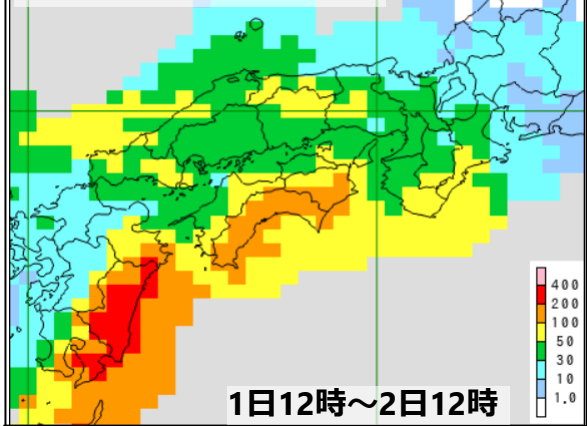
暖かく湿った空気の流入 3時間雨量予想



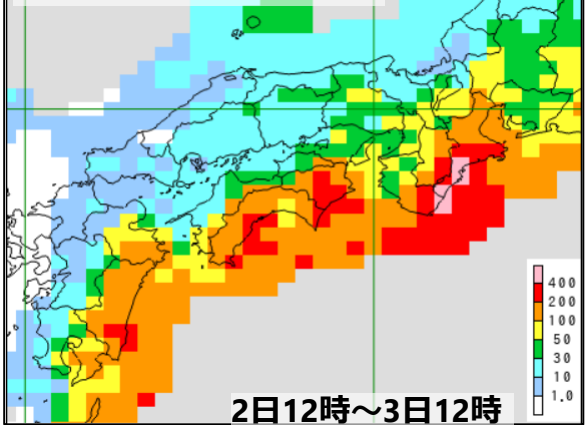
暖かく湿った空気の流入 3時間雨量予想



最大24時間降水量



最大24時間降水量



この図は数値予報の計算結果をそのまま画像化したものであり、実際に発表する天気予報や台風予報等とは異なります。降水の面的分布をイメージとして、ご覧ください。

# 今後の気象状況 近畿地方への影響 1日 11時現在

最接近  
↔

		1日				2日								3日			
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-06	06-12	12-18	18-24
大雨	近畿北部																
	近畿中部																
	近畿南部																
土砂災害	近畿北部																
	近畿中部																
	近畿南部																
最大風速	近畿北部陸上	6	6	5	5	6	6	6	8	8	8	10	12				
	近畿北部海上	8	8	8	8	8	8	10	10	10	10	15	15				
	近畿中部陸上	10	12	12	12	12	12	12	12	12	13	18	18				
	近畿中部海上	12	15	15	15	15	15	15	15	15	18	23	23				
	近畿南部陸上	8	8	6	6	8	8	8	8	8	12	15	18				
	近畿南部海上	10	10	10	10	10	10	10	10	13	15	20	23				
波高(m)	近畿北部	0.5	0.5	0.5	0.5	1	1	1	1	1.5	1.5	1.5	2				
	近畿中部	1.5	1.5	2	2	2	2	2	2	2.5	2.5	3	4				
	近畿南部	2	2	2	2	2.5	2.5	2.5	2.5	3	3	5	6				

  早期注意情報[中]

風 ( ) は瞬間風速	1日	2日	3日
近畿北部	陸上 6 ( 20未満 ) メートル	陸上 12 ( 25 ) メートル	陸上 12 ( 25 ) メートル
	海上 8 ( 20未満 ) メートル	海上 15 ( 25 ) メートル	海上 15 ( 25 ) メートル
近畿中部	陸上 12 ( 25 ) メートル	陸上 18 ( 30 ) メートル	陸上 20 ( 35 ) メートル
	海上 15 ( 25 ) メートル	海上 23 ( 35 ) メートル	海上 25 ( 35 ) メートル
近畿南部	陸上 8 ( 20未満 ) メートル	陸上 18 ( 30 ) メートル	陸上 25 ( 35 ) メートル
	海上 10 ( 20 ) メートル	海上 23 ( 35 ) メートル	海上 30 ( 45 ) メートル
波	1日	2日	3日
	近畿北部 0.5 メートル	2 メートル	2 メートル
	近畿中部 2 メートル うねり	4 メートル うねり	5 メートル うねり
近畿南部 2 メートル うねり	6 メートル うねり	9 メートル うねり	

何れも多い所で

1時間降水量	1日	2日
近畿北部	1ミリ	20ミリ
近畿中部	5ミリ	40ミリ
近畿南部	5ミリ	70ミリ

何れも多い所で

24時間降水量 ( 1日 12時 ~ 2日 12時 )	
近畿北部	40ミリ
近畿中部	80ミリ
近畿南部	80ミリ
24時間降水量 ( 2日 12時 ~ 3日 12時 )	
近畿北部	80ミリ
近畿中部	150ミリ
近畿南部	300ミリ
24時間降水量 ( 3日 12時 ~ 4日 12時 )	
近畿北部	10ミリ
近畿中部	10ミリ
近畿南部	30ミリ

※今後の台風の進路により変わる可能性があります。 気象庁ホームページ等で最新の台風情報等を参照ください。

# 今後の気象状況 近畿地方への影響

1日 11時現在

		1日				2日								3日				4日
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12
近畿北部	1時間最大雨量(mm)	0	0	0	1	10	20	20	20	20	20	15	15					
	24時間最大雨量(mm)	40				80												
近畿中部	1時間最大雨量(mm)	0	0	3	5	10	20	20	20	20	30	40	40					
	24時間最大雨量(mm)	80				150												
近畿南部	1時間最大雨量(mm)	0	0	3	5	10	10	30	30	30	30	50	70					
	24時間最大雨量(mm)	80				300												

風 ( ) は瞬間風速	1日		2日		3日	
近畿北部	陸上	6 ( 20未満 ) メートル	陸上	12 ( 25 ) メートル	陸上	12 ( 25 ) メートル
	海上	8 ( 20未満 ) メートル	海上	15 ( 25 ) メートル	海上	15 ( 25 ) メートル
近畿中部	陸上	12 ( 25 ) メートル	陸上	18 ( 30 ) メートル	陸上	20 ( 35 ) メートル
	海上	15 ( 25 ) メートル	海上	23 ( 35 ) メートル	海上	25 ( 35 ) メートル
近畿南部	陸上	8 ( 20未満 ) メートル	陸上	18 ( 30 ) メートル	陸上	25 ( 35 ) メートル
	海上	10 ( 20 ) メートル	海上	23 ( 35 ) メートル	海上	30 ( 45 ) メートル

波	1日		2日		3日	
近畿北部	0.5 メートル		2 メートル		2 メートル	
近畿中部	2 メートル うねり		4 メートル うねり		5 メートル うねり	
近畿南部	2 メートル うねり		6 メートル うねり		9 メートル うねり	

何れも多い所で	1日	2日
1時間降水量		
近畿北部	1ミリ	20ミリ
近畿中部	5ミリ	40ミリ
近畿南部	5ミリ	70ミリ

何れも多い所で	1日 12時 ~ 2日 12時	2日 12時 ~ 3日 12時	3日 12時 ~ 4日 12時
24時間降水量			
近畿北部	40ミリ		
近畿中部	80ミリ		
近畿南部	80ミリ		
24時間降水量			
近畿北部		80ミリ	
近畿中部		150ミリ	
近畿南部		300ミリ	
24時間降水量			
近畿北部			10ミリ
近畿中部			10ミリ
近畿南部			30ミリ

※今後の台風の進路により変わる可能性もあります。  
気象庁ホームページ等で最新の台風情報等を参照ください。

## 三重県の量予想

三重県北中部	地域	1日				2日								3日	備考・関連する現象
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24		
1時間最大雨量 (mm)		0	0	0	0	5	10	15	20	25	25	30	30		
24時間最大雨量 (mm)		50													
						150									
大雨															
土砂災害															
最大風速 (m/s)	陸上	6	6	4	4	5	5	5	6	6	6	7	7		
	海上	6	6	4	4	6	6	8	8	10	10	13	13		
波浪 (m)		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1	1.5	1.5	1.5		うねり
高潮	潮位 (m)	-0.4	0.7	0.8	0.4	0	0.8	0.8	0	-0.6	0.6	0.9	0.7		
三重県南部	地域	1日				2日								3日	備考・関連する現象
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24		
1時間最大雨量 (mm)		0	0	3	5	5	10	20	25	30	40	50	50		
24時間最大雨量 (mm)		80													
						250									
大雨															
土砂災害															
強風 (m/s)	陸上	6	5	3	2	4	4	6	8	8	10	10	10		
	海上	6	6	6	6	6	6	8	10	12	15	15	18		
波浪 (m)		1.5	1.5	2	2	2	2	2	2.5	2.5	3	4	4		うねり
高潮	潮位 (m)	-0.3	0.5	0.7	0.4	0.2	0.7	0.7	0	-0.4	0.5	0.9	0.7		

何れも多い所で

1時間降水量	1日	2日
三重県	5㍻	50㍻

何れも多い所で

24時間降水量	( 1日 12時 ~ 2日 12時 )
三重県	80㍻
	( 2日 12時 ~ 3日 12時 )
三重県	400㍻
	( 3日 12時 ~ 4日 12時 )
三重県	5㍻

		1日		2日				3日		4日	5日	6日
警報級の可能性		12-18	18-24	00-06	16-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	滋賀県南部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	滋賀県北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都府南部	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-	-	-
	京都府北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大阪府	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-	-	-
	兵庫県南部	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-	-
	兵庫県北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	奈良県北部	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-	-	-
	奈良県南部	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-	-	-
	和歌山県北部	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-	-
	和歌山県南部	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-	-
土砂災害	滋賀県南部	-	-	-	-	-	-	-	-			
	滋賀県北部	-	-	-	-	-	-	-	-			
	京都府南部	-	-	-	-	-	-	-	-			
	京都府北部	-	-	-	-	-	-	-	-			
	大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-			
	兵庫県南部	-	-	-	-	-	-	-	-			
	兵庫県北部	-	-	-	-	-	-	-	-			
	奈良県北部	-	-	-	-	-	-	[中]	[中]			
	奈良県南部	-	-	-	-	-	-	[中]	[中]			
	和歌山県北部	-	-	-	-	-	[中]	[中]	[中]			
	和歌山県南部	-	-	-	-	-	[中]	[中]	[中]			

警報級の可能性		1日		2日				3日		4日	5日	6日
		12-18	18-24	00-06	16-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
暴風	滋賀県南部	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-	-	-
	滋賀県北部	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-	-	-
	京都府南部	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-	-	-
	京都府北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大阪府	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-	-
	兵庫県南部	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-	-
	兵庫県北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	奈良県北部	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-	-	-
	奈良県南部	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-	-	-
	和歌山県北部	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-	-	-
	和歌山県南部	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-	-	-
波浪	京都府北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大阪府	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-	-
	兵庫県南部	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-	-	-
	兵庫県北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	和歌山県北部	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-	-	-
和歌山県南部	-	-	-	-	-	[高]	[高]	[中]	-	-	-	
高潮	京都府北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	兵庫県南部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	兵庫県北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	和歌山県北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	和歌山県南部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- ✓ お住いの地域でどのような災害が起こりやすいかハザードマップ等で確認するなど、台風への十分な備えをお願いします。
- ✓ 2日夜から3日午前中は、台風が近畿地方に接近し、荒れた天気となる見込みです。気象台が発表する最新の防災気象情報、キキクルをこまめに確認するとともに、市町村からの避難に関する情報等に留意してください。
- ✓ 近畿地方では2日から3日を中心に台風第6号の影響で交通機関が乱れる可能性もあります。交通機関からの情報に留意してください。また山や海などのレジャーなどにおいても気象情報や交通情報に留意してください。

災害から身を守るため気象庁では「新たな防災気象情報の運用」を開始しました。危険度を警戒レベルに対応させることで、住民の皆様が避難のタイミングをより判断しやすいように改善したものです。レベルの数や色の持つ意味も確認頂き、特にレベル4の段階までには危険な場所から避難を完了していただく事が重要です。テレビやラジオ、インターネットなどで最新の気象情報をこまめに確認し、お住まいの自治体から発表される避難情報にも十分注意してください。早めの備えと避難行動を心がけてください。

レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	とるべき行動
<b>5</b>	<b>レベル5</b> 氾濫特別警報	<b>レベル5</b> 大雨特別警報	<b>レベル5</b> 土砂災害特別警報	<b>レベル5</b> 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに 危険な場所から かならず避難！>					
<b>4</b>	<b>レベル4</b> 氾濫危険警報	<b>レベル4</b> 大雨危険警報	<b>レベル4</b> 土砂災害危険警報	<b>レベル4</b> 高潮危険警報	危険な場所から <b>全員避難</b>
<b>3</b>	<b>レベル3</b> 氾濫警報	<b>レベル3</b> 大雨警報	<b>レベル3</b> 土砂災害警報	<b>レベル3</b> 高潮警報	<b>避難に時間を要する 人は早めに避難</b> 、避難の準備など
<b>2</b>	<b>レベル2</b> 氾濫注意報	<b>レベル2</b> 大雨注意報	<b>レベル2</b> 土砂災害注意報	<b>レベル2</b> 高潮注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
<b>1</b>	早期注意情報				災害への心構えを高める

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 早期注意情報注意情報（警報級の可能性） <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=probability>
- 時系列情報（明日までの警報等の見通し） [https://www.jma.go.jp/bosai/warning\\_timeline](https://www.jma.go.jp/bosai/warning_timeline)
- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>
- キキクル（どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まっているかを地図上で表示）
  - 土砂キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/>
  - 大雨キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:heavyrain/>
  - 浸水キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>
  - 洪水キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>
- 気象防災速報・気象解説情報（警報や注意報に先立って注意を呼びかけたり、警報や注意報の内容を補足）  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>
- 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>
- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）  
<https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>
- 最新の気象データ（雨雲の動き（雨・雷・竜巻）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）  
<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>  
<https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>  
[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre\\_rct/index24\\_rct.html](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html)  
[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind\\_rct/index\\_mxwsp.html](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html)  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari>
- 14か国語による防災気象情報の提供  
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>
- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））  
[http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3\\_hinanjouhou\\_guideline/pdf/point.pdf](http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf)

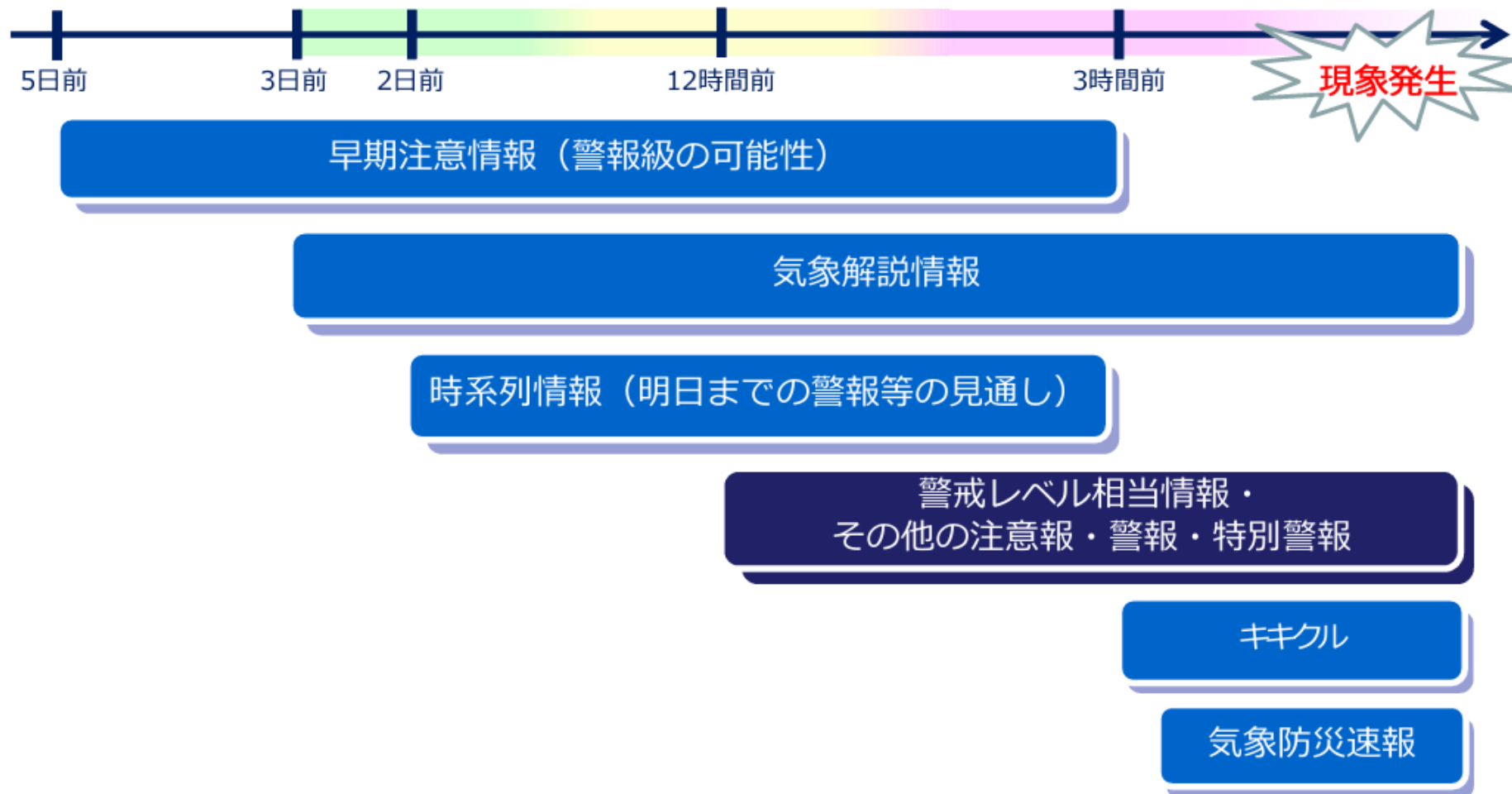


@JMA\_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。

- 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
- キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。



- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報等）

## 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル <b>5相当</b>	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル <b>4相当</b>	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル <b>3相当</b>	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル <b>2</b>	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル <b>1</b>	早期注意情報				災害への心構えを高める

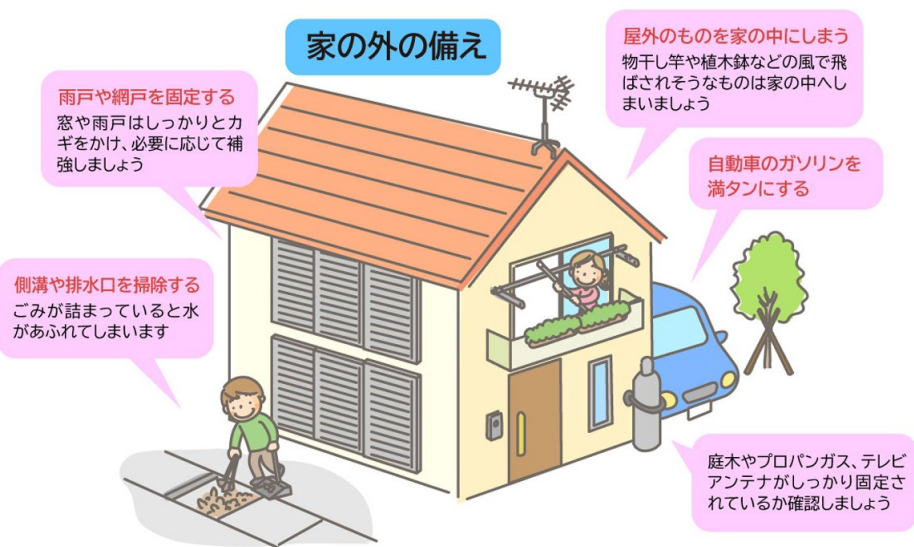
- 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、**これまでと変わりません。**
- これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いるが、**警戒レベルには相当しない**ことに留意してください。

### 警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報









<b>特別警報</b>	暴風、波浪、大雪、暴風雪
<b>警報</b>	暴風、波浪、大雪、暴風雪
<b>注意報</b>	強風、波浪、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

※これらの特別警報や警報は、レベル5（緊急安全確保）やレベル3（高齢者等避難）には相当しないことに留意してください。

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	おおよその瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。 	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。 	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。 	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。 	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。 	外装材が広範囲にわたって飛散する。 	50
40~ 約140km/h~			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。 	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。  
 ※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。  
 ※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze\_index.html)

波によるうちあげ高を考慮した高潮情報の発表は、高潮予報海岸として指定された海岸で実施する。高潮予報海岸以外では、潮位基準のみで情報を運用（右列）。

現在	令和8年度出水期～	
	高潮予報海岸 (発表主体：国交省・都道府県・気象台)	高潮予報海岸以外 (発表主体：気象台)
高潮氾濫発生情報 (都道府県発表)	<b>レベル5 高潮特別警報</b> 潮位と水位のレベル5基準を設定して運用  破堤、背後地の浸水を実際に確認した場合に発表 潮位と水位の実況値または直近予測のいずれかが基準を超え、かつ、その状況が一定時間継続すると予想される場合に発表  注：都道府県によるレベル5高潮氾濫発生情報と一体的に運用。	潮位のレベル5基準を設定して運用  実況値または直近の潮位予測が基準を超え、かつ、その状況が一定時間継続すると予想される場合に発表
高潮特別警報・警報 (気象台発表)	<b>レベル4 高潮危険警報</b> 潮位はレベル4基準を設定して運用 水位はレベル5基準と同一  避難に要する時間等を考慮し、浸水被害のおそれがある状況（浸水がすでに発生or切迫）となる約6時間前までに発表	潮位のレベル4基準を設定して運用  避難に要する時間等を考慮し、浸水被害のおそれがある状況（浸水がすでに発生or切迫）となる約6時間前までに発表
警報に切り替える可能性に言及する高潮注意報 (気象台発表)	<b>レベル3 高潮警報</b> 浸水被害のおそれがある状況（浸水がすでに発生or切迫）となる約12時間前までに発表	浸水被害のおそれがある状況（浸水がすでに発生or切迫）となる約12時間前までに発表
高潮注意報 (気象台発表)	<b>レベル2 高潮注意報</b> 浸水被害のおそれがある状況（浸水がすでに発生or切迫）となる約18時間前までに発表	浸水被害のおそれがある状況（浸水がすでに発生or切迫）となる約18時間前までに発表

**潮位予測  
+うちあげ高(水位)予測**

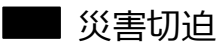


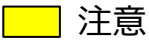
**潮位予測のみ**

(注) 現在は高潮注意報で行っている低地での軽微な浸水被害に対する注意喚起は、新たな情報体系では扱わず、今後は高い潮位、大潮等に関する「気象解説情報」で対応  
また、毎日4回更提供する時系列情報(明日までの警報等の見通し)により、翌日までの3時間毎の潮位の量的な予想も把握可能

- 令和8年度の新たな防災気象情報の運用開始に合わせ、新たに「時系列情報（明日までの警報等の見通し）」を提供します。
- 時系列情報は、警報・注意報に先立って気象の見通しを二次細分区単位(+山地等の分割地域)で提供する予測情報です。
  - 警報・注意報の発表に関わらず、時系列情報の対象とする全要素\*について、翌日までの3時間毎または日毎の気象状況の見通しを、毎日4回（05時、11時、17時、23時）提供  
\*対象要素：  
大雨、土砂災害、風、波、高潮、雷、乾燥、大雪、融雪、濃霧、着氷、着雪、なだれ、低温、霜（下線部の要素は日毎の見通しを提示）
  - 気象庁ホームページでは常時表示、定期的に更新（上記の4回）
  - 定期的な更新以外にも、当初の想定から今後の見通しが大きく変わった場合などには、必要に応じて臨時に修正情報を発表（気象庁ホームページの時系列情報も更新）

## 時系列情報のイメージ

〇〇市の時系列情報（明日までの警報等の見通し）														
2026年XX月XX日11時00分発表														
〇〇市	地域	28日										30日	備考・関連する現象	
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18			18-21
1時間最大雨量(mm)					10	30	50	50	30	20	10			
24時間最大雨量(mm)		200												
大雨														
土砂災害														
暴風(m/s)	陸上	5	10	15	25	25	25	25	25	25	25	15	5	
	海上	10	15	25	30	30	30	30	30	30	30	20	10	
6時間最大降雪量(cm)														
24時間最大降雪量(cm)														
大雪														
波浪(m)		2	4	6	8	8	8	8	8	8	8	5	2	
高潮	潮位(m)	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.5	2.0	1.5	1.0	0.5	

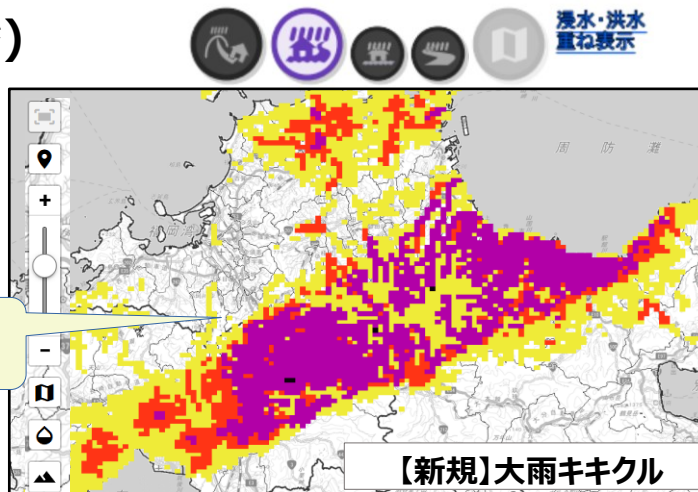
 災害切迫	特別警報基準を超えると予想される時間帯
 危険	危険警報基準を超えると予想される時間帯(土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯)
 警戒	警報基準を超えると予想される時間帯(土砂災害、高潮については、警報発表の可能性のある時間帯)
 注意	注意報基準を超えると予想される時間帯(高潮については、注意報発表の可能性のある時間帯)

「高潮」において、潮位（高潮予報海岸では水位も）の量的な予想が記載される

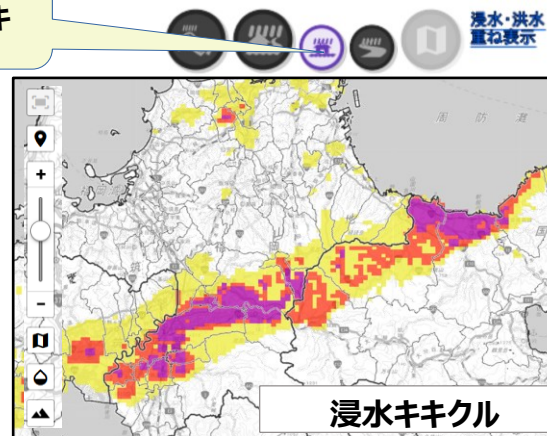
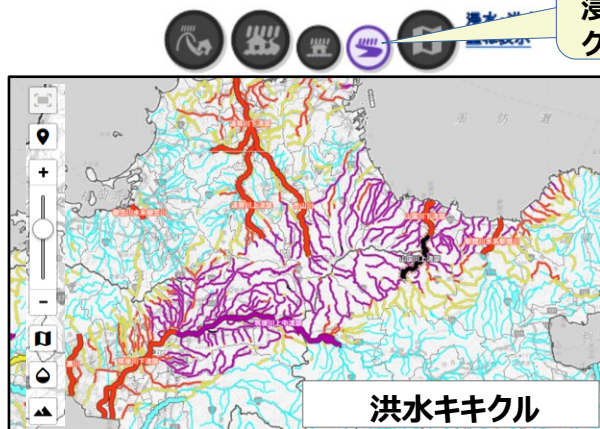
- 大雨に関する情報が発表された際に、**危険度が高まっている地域を確認**することができます。
- 大雨に関する情報が対象としている**河川の氾濫の危険度（洪水キキクル）**や**短時間強雨による浸水害の危険度（浸水キキクル）**を重ねて**大雨キキクル**として新規表示します。
- **洪水キキクルと浸水キキクルについて切替え表示**で、洪水災害・浸水害それぞれの**危険度の確認**が可能です。

## 大雨キキクル（イメージ）

現行の浸水と洪水メッシュの危険度を重ね合せた危険度



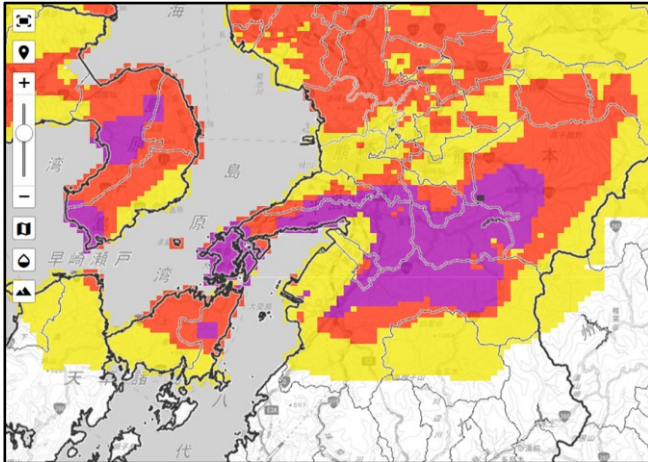
ボタンにより大雨キキクル、浸水キキクル、洪水キキクルを切替え表示



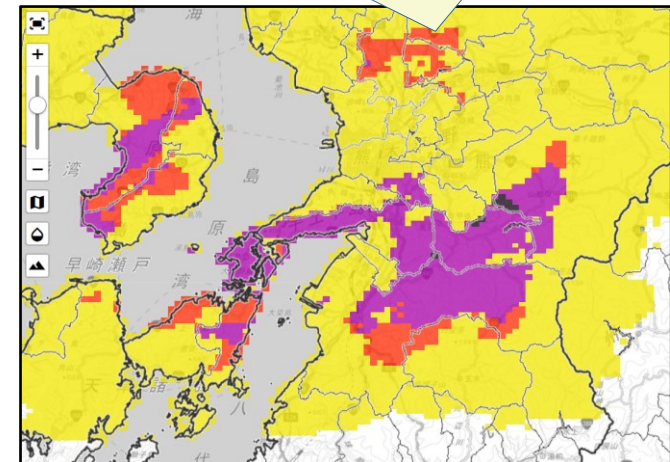
- 土砂災害に関する情報が発表された際に、**危険度が高まっている地域を確認**することができます。
- 判定基準の変更に伴い、現行に比べて**警戒（赤）が絞り込まれるとともに、注意（黄）から危険（紫）になることが多くなる**傾向がありますので、表示の特性の変化にご留意ください。

## 土砂キキクルの特性変化（イメージ）

現行



新運用



現行に比べて赤が絞り込まれ、黄から紫になることが多くなる傾向

### 危険度の判定方法の変更

**■ 災害切迫【警戒レベル5相当】**

実況でレベル5土砂災害特別警報基準到達（変更なし）

**■ 警戒【警戒レベル3相当】**

<現行> 2時間先までに大雨警報（土砂災害）基準到達

<新運用> **3時間先にレベル4土砂災害危険警報基準**到達

**■ 危険【警戒レベル4相当】**

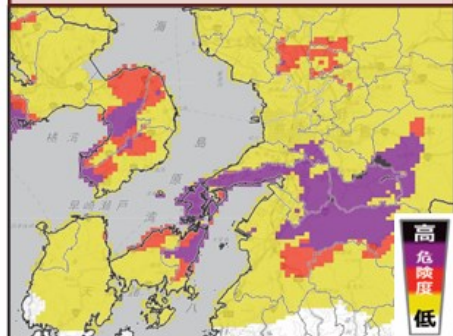
2時間先までにレベル4土砂災害危険警報基準到達（変更なし）

**■ 注意【警戒レベル2相当】**

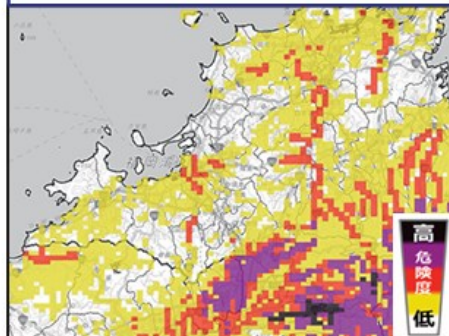
<現行> 2時間先までに大雨注意報基準到達

<新運用> **6時間先**までにレベル2土砂災害注意報基準到達

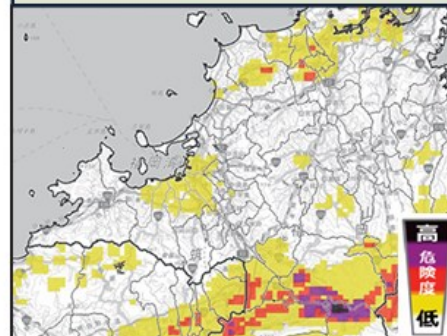
土砂キキクル



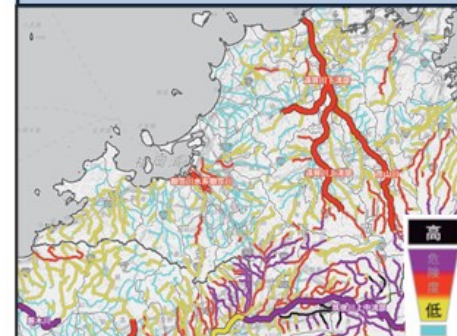
大雨キキクル



浸水キキクル



洪水キキクル



土砂災害



浸水害



洪水災害



**「紫」が出現した段階で  
速やかに安全な場所に避難する判断を！**

「キキクル」の「災害切迫（黒）」は、大雨による災害が**すでに発生**している可能性が高い状況であり、災害が発生する前に**いつも出現**するとは限りません。このため、「黒」を待つことなく、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

文章情報

### 半日前予測

半日程度前からの呼びかけ

令和4年	地方単位で予測
↓	
令和6年	<b>府県単位</b> で 発生の半日程度前に予測

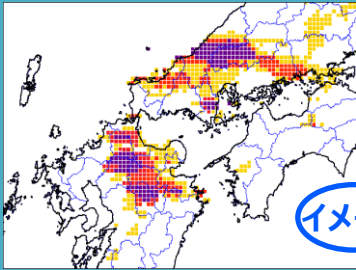
〇〇県では、〇〇から〇〇にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

図情報

### 計画

令和11年

線状降水帯発生による大雨の  
**可能性が高い市町村**を把握  
できる格子形式の分布図を表示※1



イメージ

### 直前予測

確度の高い直前の予測

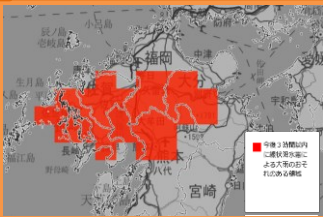
令和8年	〇〇県北部などの <b>一次細分区域単位</b> で 線状降水帯となる <b>2～3時間前</b> を目標に予測
------	---

〇〇県北部では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害の危険度が非常に高まるおそれがあります。

### 線状降水帯予測マップ

令和8年

線状降水帯となり、災害をもたらす  
大雨のおそれがある大まかな領域を  
**2～3時間前**を目標に  
図情報で表示




### 発生情報

令和3年	〇〇県北部などの 一次細分区域単位で 線状降水帯の発生をお知らせ <b>+ 追加</b>
令和5年	最大 <b>30分</b> 程度前倒し

〇〇県北部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まっています。

令和3年	線状降水帯の雨域を <b>楕円</b> で表示 最大30分程度前倒して解析した結果も 楕円で表示（令和5年～）
------	--



「雨雲の動き」・「今後の雨」  
に楕円を表示

※ 従前の計画通り令和11年に提供開始予定。  
令和12年度運用開始予定の次期静止気象衛星により  
更なる予測精度向上を目指す。

線状降水帯に関する情報

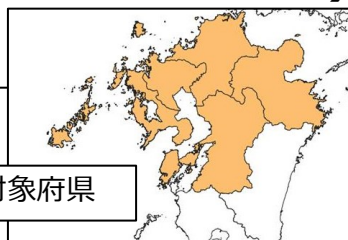
住民に求められる行動

線状降水帯  
発生の可能性あり

～半日程度前

気象解説情報(線状降水帯**半日前予測**)

内容：線状降水帯による大雨の  
半日程度前からの呼びかけ



大雨に対する  
心構えを一段高め、  
避難準備等、  
災害に備える

線状降水帯  
となる可能性が  
高まる

～3時間前

気象防災速報(線状降水帯**直前予測**)

内容：線状降水帯となる危険性が高まった際に、  
発生の2～3時間前を目標にお知らせ



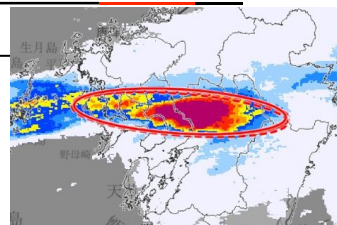
周辺状況や自治体の  
避難情報等もふ  
まえ、避難など適切  
な防災行動をとる

線状降水帯  
発生

30分前  
～現在

気象防災速報(線状降水帯**発生**)

内容：線状降水帯の発生をお知らせ



自治体からの避難  
情報や周辺状況を  
確認し、速やかに  
安全確保

時間

## 風の強さと吹き方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成19年4月一部改正)、(平成25年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

### 風の強さと吹き方(pdf)

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	おおよその時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	おおよその瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて立ってられない。 飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。 固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	40
	25以上 30未満	～110km					固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるものがある。 ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	～140km					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km～						

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

## 雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の 受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる				

(注1) 大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

## 台風の大きさと強さ

気象庁は台風のおおよその勢力を示す目安として、下表のように風速(10分間平均)をもとに台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。「大きさ」は強風域(風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の半径で、「強さ」は最大風速で区分しています。

さらに、風速25m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲を暴風域と呼びます。

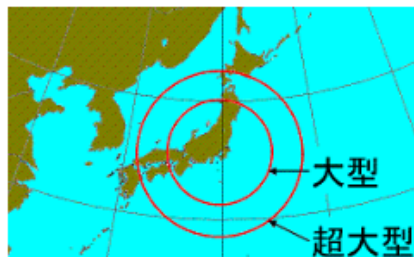
強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

大型、超大型の台風それぞれの大きさは、日本列島の大きさと比較すると以下のようになります。



台風に関する情報の中では台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で強い台風」のように呼びます。ただし、強風域の半径が500km未満の場合には大きさを表現せず、最大風速が33m/s未満の場合には強さを表現しません。例えば「強い台風」と発表している場合、その台風は、強風域の半径が500km未満で、中心付近の最大風速は33～43m/sで暴風域を伴っていることを表します。

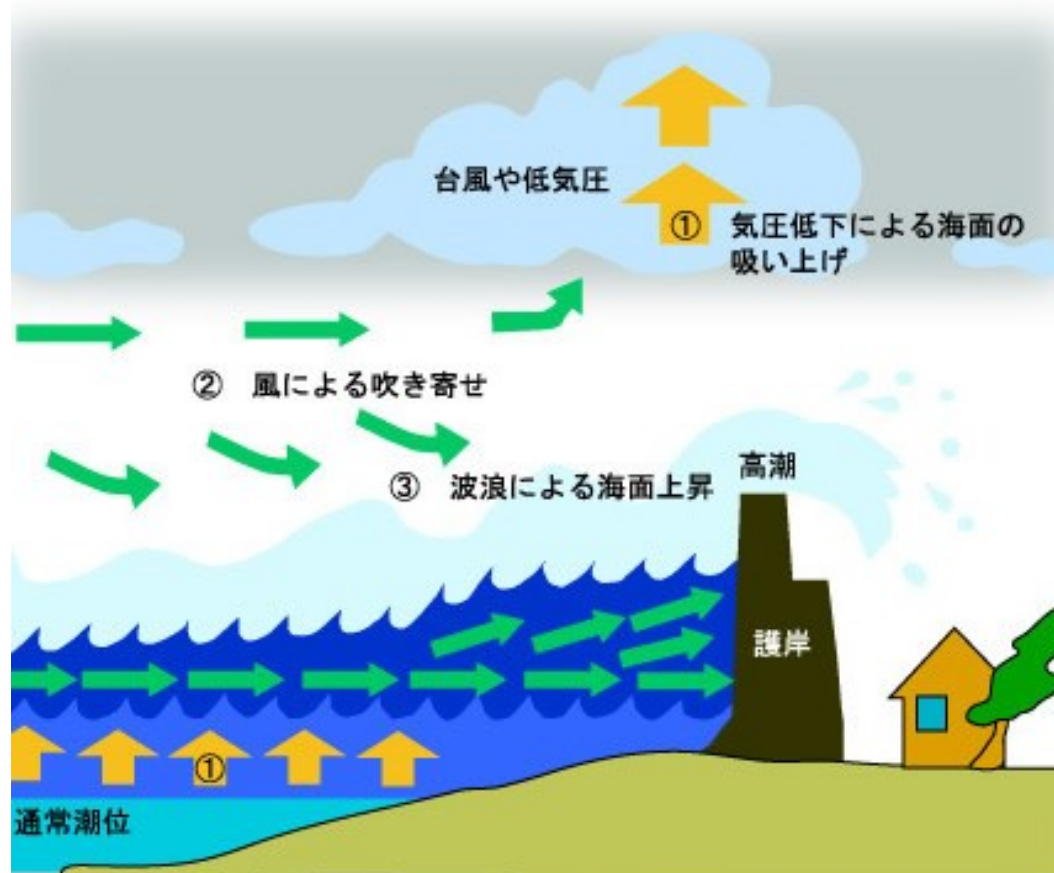
なお、台風情報では暴風域を円形で示します。この円内は暴風がいつ吹いてもおかしくない範囲です。

台風により、

- ①気圧低下により海面の上昇
- ②風による吹き寄せ
- ③波浪による海面の上昇

の相乗効果により高潮の可能性が高くなります。

特に台風の進行方向の右側では風も強くなり、海面の上昇が起きやすく、特にV字型の湾では奥に行くほど海面上昇が助長されます。



天気予報では、1日を3時間ごとに区切って、表現しています。

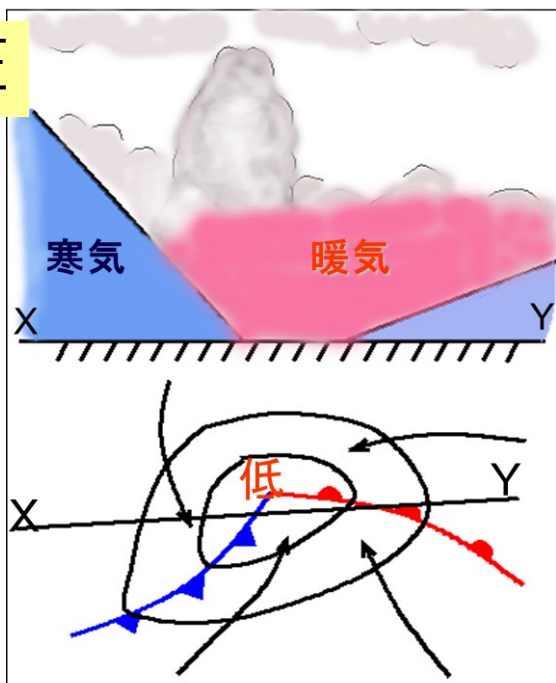
時間帯	一日の時間細分		
00:00～03:00	未明	午前中	
03:00～06:00	明け方		
06:00～09:00	朝		
09:00～12:00	昼前	午後	日中
12:00～15:00	昼過ぎ		
15:00～18:00	夕方		
18:00～21:00	夜のはじめ頃	夜	
21:00～24:00	夜遅く		

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋（赤道より北で東経180度より西の領域）または南シナ海に存在し、なおかつ**低気圧域内の最大風速（10分間平均）**がおよそ17m/s（34ノット、風力8）以上のものを「台風」と呼びます。

参考資料：台風と温帯低気圧の違い

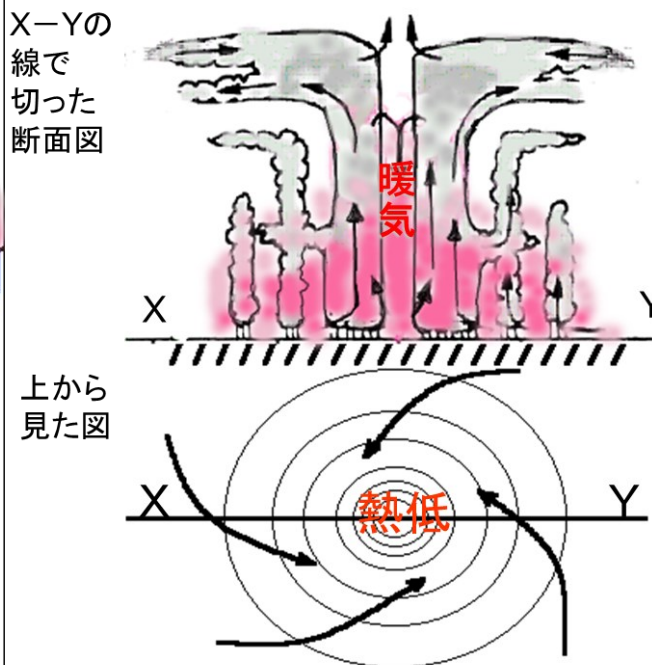
温帯低気圧

寒気・暖気の温度差をエネルギーに発生・発達



熱帯低気圧

熱帯の大量の暖かく湿った空気をエネルギーに発生・発達



滋賀県北部は  
4～9月は近畿地方中部  
10～3月は近畿地方北部

近畿地方北部

近畿地方中部

近畿地方南部

